

ランチタイム・コンサート ～All Chopin Program～

6月1日(火) 開場 11:30 開演 12:00 入場料 ¥500

出演：稲田 潤子 / Junko Inada

Hommage à Chopin ～パリ、そしてノアンの思い出～
(Souvenir de Paris et Nohant)

■プログラム／ショパン

スケルツォ 第2番 変ロ短調 op.31
コントルダンス 変ト長調 遺作
タランテラ 変イ長調 op.43
4つのマズルカ op.24 ト短調・ハ長調・変イ長調・変ロ短調
ポロネーズ 嬰ハ短調 op.44
ノクターン ハ短調 op.48-1
幻想即興曲 嬰ハ短調 op.66

※曲目に変更がある場合がございます。



©Shigeto Imura

■プロフィール／いなだ じゅんこ

東京音楽大学附属高等学校ピアノ演奏家コースを最優秀賞、首席で卒業後渡仏。パリ国立高等音楽院ピアノ科、室内楽科ともに一等賞で卒業。パリ・エコール・ノルマル音楽院にて演奏家資格を取得するなど研鑽を積む。全日本学生音楽コンクール、日本音楽コンクール、ソフィア国際ピアノコンクールなど国内外の数々のコンクールに優勝、入賞する。

1997年モスクワで行われたラフマニノフ国際音楽コンクールピアノ部門で第3位(2位なし)を受賞し、注目を集めた。

日本とフランスを中心としたヨーロッパ各地で演奏活動を行っている。フランス・ルーマラン音楽祭で連続公演の他、パリでは毎年“夏のコンサートシリーズ”などに出演、賞賛を博し今夏も公演が予定されている。また日本でもリサイタル、室内楽の他、NHKテレビ「ショパンを弾く」、NHK「FMリサイタル」、「FM名曲リサイタル」、TBSテレビに出演、クラシカジャパンの諫山隆美氏による「今週のピアニスト」では、リサイタルでのブランクなどの演奏が取り上げられ放映される。また明るく当意即妙なトークにも好感が持たれている。数々のコンサートで「日本人離れした豪快さ」と好評を博すなど、現在最も期待されるピアニストの一人として着実な活動を示している。

モスクワ交響楽団、ソフィア放送管弦楽団、その他国内外の主要なオーケストラと数多く共演。2002年春よりシリーズ“Imagination”をスタートさせ、ラフマニノフ生誕130周年記念連続リサイタル等、好評を得ながら今秋11月16日(火)に節目となる10回目を迎える。

2004年秋リリースしたCD「TABLEAUX」はファーストアルバムにもかかわらず、「絢爛たる響きを駆使した堂々たるヴィルティオーゾぶり」「繊細で華麗なピアニズムを披露」と発売当初より高い人気を得て話題となっている。

これまでに三浦捷子、松浦豊明、ジャン＝クロード・ペヌティエ、故ジェルメーヌ・ムニエ他の各氏に師事。稲田潤子・公式サイト <http://naks.biz/inajun/>